

【ヨハネの福音書 3 章 16 節】

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された」と述べられているように、神は、私たち人間の罪を赦し、魂を^{あがな}贖うために、神のひとり子であるイエス・キリストを、この地上に^{つか}遣わし、人間の罪の身代わりとして十字架に架けられました。そして、イエス・キリストは死んで墓に^{ほうむ}葬られ、3日目に^{よみがえ}蘇られて、私たちに、永遠の命を生きる道を開いて下さいました。

主は、それ程に、私たちを、この世のすべての人々を、愛して下さいます。

そして「御子を信じる者」、すなわち、イエスをキリスト（救い主）と信じるものは、誰でも、罪が完全に赦されて（義と^ぎされて）、神のこどもとされて、天国において、神とともに永遠の命を生きるものとされています。

ですから、どんな人で、どんな罪を犯した人でも、心から悔い改めて「御子を信じる」ならば、罪赦されて、永遠の命が与えられます。この神の素晴らしい愛をしっかりと受けとってまいりましょう。

この世は、サタンの支配の下にあり、私たちクリスチャンも罪を犯してしまうことがあります。そのような時には、直ぐに悔い改めて、主に立ち返りましょう。主はすべての罪を赦して下さいます。そして、神の愛を受け入れて、主の平安と喜びのうちにクリスチャンライフをエンジョイしてまいりましょう。